

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、専門学校麻生リハビリテーション大学の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

平成30年3月30日

校長 安藤 廣美

自己点検・評価責任者

校長代行 原嶋 克幸

学校関係者評価報告書

専門学校麻生リハビリテーション大学校

目次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 2 -
1. 学校関係者評価の目的	- 2 -
2. 学校関係者評価の基本方針	- 2 -
3. 学校関係者評価委員名簿	- 2 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時	- 2 -
5. 学校関係者評価方法	- 2 -
II. 学校関係者評価内容	- 3 -
基準 1 理念・目的	- 3 -
基準 2 教育の内容	- 4 -
基準 3 教育の実施体制	- 6 -
基準 4 教育目標の達成度	- 8 -
基準 5 学生支援	- 9 -
基準 6 学生募集・受け入れ	- 10 -
基準 7 社会的活動	- 11 -
基準 8 管理運営・財務（学校・グループ）	- 12 -
基準 10 改革・改善・情報提供	- 13 -

基準 9 は評価対象外

平成29年度
(2017年度)

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

場 所：専門学校麻生リハビリテーション大学校 2階会議室

1. 学校関係者評価の目的

- ① 業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、専門学校麻生リハビリテーション大学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ② 学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員会 出席者

区分	氏名	所属
業界関係者	秋山 絵吏	株式会社麻生 飯塚病院 リハビリテーション部 作業療法士
業界関係者	井本 俊之	株式会社麻生 飯塚病院 リハビリテーション部 技師長
業界関係者	栗田 芳宏	株式会社麻生 飯塚病院 リハビリテーション部 言語聴覚士
業界関係者	兵道 哲彦	株式会社麻生 飯塚病院 リハビリテーション部 副技師長
有識者	黒木 洋美	日本リハビリテーション医学会 認定医 (宮崎大学附属病院)
高校	永田 俊一	福岡県立武蔵台高等学校 主幹教諭
地域住民	松村 秀豊	福岡市東光区
卒業生	西村 天利	平成 18 年度 理学療法学科卒業生
保護者	日高 幸彦	言語聴覚学科保護者

※区分別、五十音順、敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成 30 年 9 月 19 日 (水) 16:30 ~ 17:30

5. 学校関係者評価方法

平成 29 年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

S:達成度がきわめて高い

A:ほぼ達成している

B:達成がやや不十分であり、若干改善を要する(要観察:放置すると不適合になる)

C:達成は不十分で改善を要する(不適合)

Ⅱ. 学校関係者評価内容

基準 1 理念・目的

基準1 総括

教育理念は開校当初より明文化し、教職員に周知している。

・校訓 「無私」

・教育方針 「専門性を高め、かつ人間性・人格の成長を図ります」

教育目的、育成人材像は学科毎に明確に定めており、「学生便覧」等で周知している。実現するための具体的な計画・方法をカリキュラムやシラバスとして定めており、時代の変化に対応した内容となるように見直しも行なっている。

学校の特色については、総合パンフレットや Web サイトで広く公表している。

学校運営方針や事業計画は事業計画書で定めており、毎月の責任者会議で進捗を確認している。

見つかった課題

特記事項無し

改善策又は改善の方向性

教育理念を実現するために、時代の変化に対応した内容となるよう見直しを継続していく。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特に無し

中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

「建学の精神」および「法人の理念」は開校当初より明文化し、教職員、学生に周知している。学校運営方針や事業計画は事業計画書で定めており、毎月の責任者会議で進捗を確認している。

小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教

員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

その内容については学生便覧、総合パンフレットおよび Web サイトで広く公表している。

小項目 1-1-2

「学校の教育理念」は明文化し、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生としてふさわしい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

入学時オリエンテーションをはじめGCB教育や日々の学生指導を通じて、社会人基礎力の向上につながる資質として周知、指導している。

小項目 1-1-3

「学校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。「学校の教育理念」は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

教育理念、育成人材像を実現するための具体的な計画・方法をカリキュラムやシラバスとして定めており、社会状況の変化に対応した内容となるように見直しも行なっている。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「学校の教育理念」から導き出されたものになっているか。またそれらを文書化し社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

各学科の教育目的や育成人材像は、法人の理念と各校の教育理念から展開したのものになっている。

小項目 1-1-5

教育課程(カリキュラム表など)を文書化し、学生に提示し、学生は内容を理解しているか。またそれらを社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

各学科の教育理念、育成人材像を実現するための具体的な計画・方法をカリキュラムやシラバスとして定めている。文書化し、教員・学生に提示しており、内容を理解している。総合パンフレットや Web サイトなどで学外にも公表している。

基準 2 教育の内容

基準 2 総括

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みは、学校および学科の教育方針に従って、厚生労働省の指定規則を遵守した形で作成している。

教科毎のシラバスも作成されており学科毎に前期・後期、それぞれ学生および教員に配布共有している。事前に学生に配布し、到達目標を説明している。授業評価は学生アンケートを実施しており、結果をフィードバックすることにより授業の改善に繋げている。教員については学科の育成目標に向けた授業を行なうことができる要件をみたとおり、人材開発システムに基づきスキルの向上を図っている。成績評価・単位認定は明確に定められており学生便覧で周知している。資格取得については一部の学科を除き、各学科で明確に定められており、一定の資格取得が卒業要件になっている。

見つかった課題

カリキュラム作成においては、高校の現状を取り込むため、広報課から高校関係者のヒアリング情報及び業界ニーズを取り込むため、就職課から業界情報を教務にフィードバックしカリキュラム開発を行なっている。複数の教員が関わっているが、広報関係者・業界関係者・有識者などの関係者は直接会議の構成要員に入っていない。

改善策又は改善の方向性

カリキュラムは業界との連携により、直接或いはアンケートなどを通して常に最新の情報を必要に応じて網羅して作成している。今後も業界のニーズと学生の現状をバランスよく反映した教育を展開するために、更に連携の幅を広めることに務める。

平成 32 年度のカリキュラム改正に向けて、広報担当者、外部関係者を交えて実施し意見を取り入れ、コマシラバスの見直しと充実を図る。他の高等教育機関との連携講座等も今後の検討課題として推進する。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

昨年までの E-learning からベネッセの ICT 教材に変えたことで、リメディアル教育の履修率が 6 割程度から 8 割超に改善され、ICT 教材導入の効果がみられる。教材の内容は国語・数学・理科が中心であるが、英語も必要ではないかとの意見が出た。

また入学後の学力との関連性や卒業との関連についても今後調査していただきたい。

中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

■コメント

教育目標や人材育成像は各業界からのアンケート情報等により人材ニーズを把握し、各学科の教育期間で到達可能なレベルとしている。カリキュラム構築の考え方や教育内容を文書化している。教員はカリキュラムの考え方を理解している。その概要については総合パンフレットや Web サイトで広く公表している。

小項目 2-1-1

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)として、卒業認定のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するか等の基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

カリキュラムポリシーを定め、それらに基づく体系的で組織的な専門教育を点検・評価を通じた不断の改善に取り組みつつ実施することにより、学生の学修成果を向上させ、専門的な知識・技術を持った人材を育成している。

小項目 2-1-2

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

教育目標や人材育成像は各業界からのアンケート情報等により人材ニーズを把握し、各学科の教育期間で到達可能なレベルとしている。カリキュラム構築の考え方や教育内容を文書化している。教員はカリキュラムの考え方を理解している。その概要については総合パンフレットや Web サイトで広く公表している。

小項目 2-1-3

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバスを作成しているか。シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

各学科でカリキュラム、シラバスは作成し学生に配布している。

シラバスは事前に学生に配布し、到達目標を説明している。コマシラバスは作成し教職員で共有している。

小項目 2-1-4

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、カリキュラム改善のために意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

カリキュラム作成においては、高校の現状を取り込むため、広報課から高校関係者のヒアリング情報及び業界ニーズを取り込むため、就職課から業界情報を教務にフィードバックしカリキュラム開発を行なっている。教育課程編成会議において、業界からの意見を取り入れ、特に臨床実習等のカリキュラムについては詳細にわたる内容の構成に力を入れている。

小項目 2-1-5

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

カリキュラムは教務会議やカリキュラム会議等で検討し体系的に編成しており、各科目間のつながりも適正である。

中項目 2-2

教育方法は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

全教員が企業と連携した「医療機関研修」を定期的を実施しており、専門領域分野での研鑽を図っている。専門分野や担当分野に関する学会、研修会への参加し、教育力の向上を図っている。多職種連携教育(IPE)、ICT の活用も漸次導入している。

授業、演習および実習の内容については、医療機関と連携した教育課程編成委員会を通じて内容の見直しを行なっている。

小項目 2-2-6

授業方法は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生が教科内容を十分理解し習得できるように、OSCE、多職種連携教育(IPE)、ICT の活用など授業効果の高い授業方法を適切に選択し授業を行なっている。

小項目 2-2-7

コマシラバスを作成し、授業の中で概略と到達点を学生に周知しているか。シラバス・コマシラバスに基づいて授業を展開しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

シラバスに基づいた授業を展開している。コマシラバスは教職員で共有しているが、学生への配布には至っていない。

小項目 2-2-8

学習の評価は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学習の評価は客観性及び厳格性を確保し、学生に対してその基準をあらかじめシラバスで明示するとともに規程にしたがって適切に行なっている。

中項目 2-3

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

授業アンケートによる学生からのフィードバック、教育課程編成委員会との連携、教員間の授業見学を基にした授業改善の取り組みがなされており、全国リハビリテーション学校協会主催研修をはじめとして教育関連研修には毎年参加者を外向させている。また、全ての教員は厚労省が主催する教員講習(3週間)を受講済みである。

小項目 2-3-9

学生による授業評価を定期的に行なっているか。評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業アンケートを年2回実施する。授業アンケートの結果に基づき教員に対しては、面接指導を行い、改善策を検討している。改善計画書をもとに改善活動をしており、管理職と計画を共有し、管理職が進捗管理している。

小項目 2-3-10

学生による授業評価以外で、授業改善のための取組みを組織的、計画的に行なっているか。(授業改善委員会、FD等、名称問わず)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業や実習・演習の内容については、医療機関と連携した教育課程編成委員会を通じて内容の見直しを行なっている。

小項目 2-3-11

教員の専門性や指導力等の維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

全教員が企業と連携した「医療機関研修」を定期的を実施しており、専門領域分野での研鑽を図っている。専門分野や担当分野に関する学会、研修会への参加を行なっている。

中項目 2-4

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

教育目標や人材育成像は各業界からのアンケート情報等により人材ニーズを把握し、学科の教育期間で到達可能なレベルとしている。また、カリキュラムは教務会議やカリキュラム会議等で検討し体系的に編成されており、各科目間のつながりも適正である。

小項目 2-4-12

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

厚生労働省の定める指定規則に基づき、病院、福祉施設などで実習を行なっている。時間は 1,000 時間を越える。

小項目 2-4-13

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

GCB教育は 1、2 年次の時間割に組み込み実施している。日々の指導に加え、定期的なマナー教育を行なっている。

小項目 2-4-14

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

新入生に対するベネッセの ICT 教材を使った入学前課題を行なっている。実施後の評価を行い、学習上の支援が必要な学生に対しては授業支援セミナーを適宜実施している。

基準 3 教育の実施体制

基準 3 総 括

教育環境については教育目標の達成や人材育成がスムーズ行われるように教職員を組織化しており、事業計画書に掲載している。学校の年間スケジュールに関しては年間ターム表を作成し教職員・非常勤講師・学生に配布し周知している。

就職支援に関しては、就職サポートセンターを設置し、求人検索システム・求人票・企業パンフレット・受験マニュアル・受験報告書などのツールを揃えとともに、各学科や地域の求人に対応できる専属の就職担当者を設け、クラス担任と連携を取り

就職のサポートを行なっている。

学内外の安全対策に関しては防災・防犯設備の点検や避難経路の掲示や避難訓練を実施している。また、万一の事故に備えて、学生災害傷害保険に加入している。

見つかった課題

今年度の理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則および指導要領について(ガイドライン)の改訂に伴う教員、実習施設要件やカリキュラム改訂等への対応

改善策又は改善の方向性

教育体制の整備のため「カリキュラム編成委員会」、「授業運営会議」を発足し、平成32年度実施に向けての準備ときめ細やかな教育環境の実現を目指す。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

今後 32 年度のカリキュラム改定については、広報関係者、有識者のご意見を交えて行っていただきたい。

中項目 3-1

専修学校設置基準その他法令を遵守しているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

関係法令に基づき、教員の採用は厚生労働省の資格要件に定められている事項に留意して募集活動を進め、業界の専門性及び経験、必要な資格・教育に対する意欲等を持った教員を採用している。

小項目 3-1-1

教員は法令が定めた教員要件を満たし、必要な人員を適切に配置しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

関係法令に基づき、教員の採用は厚生労働省の資格要件に定められている事項に留意して募集活動を進め、業界の専門性及び経験、必要な資格・教育に対する意欲等を持った教員を採用している。

小項目 3-1-2

校地・校舎・講義室・実習室等の面積は、設置基準その他法令の基準を満たしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

校地・校舎等は専修学校設置基準、厚生省養成施設指定(施行)規則、福岡県私立専修学校設置認可取扱基準、および日本語教育機関の告示基準等の面積を満たし、必要な付帯施設を備えている。

=====

中項目 3-2

教育の実施体制を整備しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

関係法令に基づき、教材、分野ごとの環境整備を行なっている。視聴覚教育、ICT 教育や各種演習などで学生が利用できる環境を整えている。また、図書に関しては蔵書のみではなく、医学文献配信サイト「メディカルオンライン」との契約により、在校生、教職員が医学文献の検索、全文閲覧、ダウンロードができる環境を整えている。

小項目 3-2-3

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

関係法令に基づき、教員の採用は厚生労働省の資格要件に定められている事項に留意して募集活動を進め、業界の専門性及び経験、必要な資格・教育に対する意欲等を持った教員を採用している。

小項目 3-2-4

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

毎年、全非常勤講師を対象に講師会を実施し、学校方針や各学科の教育方針を共有している。また、非常勤講師と専任教員(担任)は授業毎に授業報告書をやり取りしている。理解が困難な科目や学生が苦手とする科目は、その時々クラスに応じたフレキシブルな対応のできる常勤によるフォロー授業を行なっている。

=====

中項目 3-3

教育環境を整備・活用しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

関係法令に基づき、冊数、分野ごとの整備を行なっている。学生が利用できる環境を整えている。

また、図書に関しては蔵書のみではなく、医学文献配信サイト「メディカルオンライン」との契約により、在校生、教職員が医学文献の検索、全文閲覧、ダウンロードができる環境を整えている

小項目 3-3-5

実習で使用する学校設備機器、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

施設・設備については厚生労働省の養成校についての指定規則において必要な施設基準、備品が明確に定められており、当校は監査においても満たされていると評価されている。

教職員による機材・備品の棚卸しを年 1 回実施し、適宜修理補充を実施している。

小項目 3-3-6

学内外実習時の安全対策を立案・文書化し、十分な対策を取っているか。対象となる学生にはそれらを十分理解させようと実習に参加させているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

臨床実習の心得により健康管理や事故報告の規定を周知している。学生災害傷害保険に加入することで、学内外(通学・実習含む)での安全を担保している。健診の際に感染症に対する抗体価を確認し、ワクチン接種を推奨し、確認している。

小項目 3-3-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

保守点検業者を通じ確実に整備点検を実施。都度報告書を受領し、内容の精査を行なっている。年に1度、教職員および在校生が参加して防災訓練を実施している。

小項目 3-3-8

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

就職コーナーを設置し、求人検索システム・求人票・企業パンフレット・受験マニュアル・受験報告書などのツールを揃え、るとともに、各学科や地域の求人にも対応して、学生の希望に応えている。就職支援に関しては、就職担当者を配置し、クラス担任と連携を取り就職のサポートを行なっている。

小項目 3-3-9

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

関係法令に基づき、冊数、分野ごとの整備を行っており、学生が利用できる環境を整えている。また、図書に関しては蔵書のみではなく、医学文献配信サイト「メディカルオンライン」との契約により、在校生、教職員が医学文献の検索、全文閲覧、ダウンロードをできる環境を整えている

基準 4 教育目標の達成度

基準 4 総括

年度開始前に学科会議で前年度の結果や評価を考慮し、学生に関する目標設定を行い、キックオフ会議で全教職員が情報共有、周知できるようにしている。就職に関しては各学科について月毎の目標を設定している。

内定状況や学生の内定先など就職の動きが教職員で共有できるシステムを作成し、データの管理を行なっている。就職担当と担当教員で毎週実施している定例会議やミーティングの中で、学生の就職状況に関して検証を行い、教職員に対して学科会議などで定期的に報告を行なっている。外部に対しては学校のパンフレット・Web サイト・オープンキャンパス・入試説明会・保護者会などで就職実績を公表している。

評価・成績・資格・検定・退学に関しても担当者会議を設け目標設定を行い、結果や結果に対する検証を文書化し記録するとともに教務会議などで教職員が共有している。

なお、平成 30 年度は学校養成施設指定規則および指導要領(ガイドライン)の改訂が行なわれ、平成 32 年 4 月入学生からの適用となる。

見つかった課題

養成施設指定規則および指導要領(ガイドライン)の改訂に伴う、カリキュラム等の見直し。

改善策又は改善の方向性

平成 32 年度カリキュラム改訂を目指し、外部評価との整合性を図りつつ、単位数改訂を含めたカリキュラムの見直し、臨床実習の在り方等を各学科・委員会で検討を進める。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

達成度および成果が公表に至っていないので、HP 等での公表の可能性を検討していただきたい。

中項目 4-1

各学科の教育目的に向けた達成度および成果を評価・公表しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： B

■中項目総括

年初のキックオフ会議で昨年度の振り返りと教育目標を全教職員で情報共有、周知できるようにしている。また、就職に関しては各学科について月毎の目標を設定し、共有している。

小項目 4-1-1

デュプロマ・ポリシー(卒業認定の基本方針)として、どのような力を身に付けた者に卒業を認定するか基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

デュプロマポリシーは学校法人の GCB 教育の目標と学生の心構えをもとに平成 32 年度のカリキュラム改訂に合わせ策定中である。現在の学生便覧には巻頭に GCB 教育の目標と学生の心構えを掲載している。

小項目 4-1-2

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年度開始前に学科会議で前年度の結果や評価を考慮し、学生に関する目標設定を行い、キックオフ会議で全教職員が情報共有、周知できるようにしている。

試験委員会を組織し、定期試験の管理、運営、検証を前後期試験毎に行ない、職員会議で報告・共有している。成績表等は学内システムのデータベースに記録している。

小項目 4-1-3

いわゆる「養成校」の国家資格試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

国家試験結果報告書で報告・検証し、次回への改善の取り組みを明確化している

小項目 4-1-4

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果： _____

■コメント ■適用除外

小項目 4-1-5

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

内定状況や学生の内定先など就職の動きが教職員で共有できるシステムを作成し、データの管理を行なっている。就職担当と担当教員で随時実施している会議やミーティングの中で、学生の就職状況に関して検証を行い、教職員に対して学科会議などで定期的に報告を行なっている。

小項目 4-1-6

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年度開始前の3月に各学科・各クラスとして目標を設定し、キックオフ会議で全教職員と共有している。卒業率のアップに関する目標・計画を策定し、教務会議および責任者会議で進捗管理と改善のための協議を行なっている。

基準 5 学生支援

基準 5 総括

合同就職説明会、病院別人事担当者・OB・OGによる病院別面接指導や業界理解セミナー、職種理解セミナーなどを積極的に実施した。

学生相談に関してはスクールカウンセラーが相談に応じている。学生の経済的な支援は分割納入制度や各種奨学金については学生課が行なっており有効に機能している。学生の健康管理については、毎年健康診断を行なっており、感染対策委員会を開催し、学校医の指示のもと予防措置等を図っている。

保護者との連携は、電話連絡で日常的に行なっているほか、適宜三者面談を行なっている。また、保護者会を開催して、学校の取り組みと就職活動の状況について報告している。

卒業生に対しては、「既卒向け求人の情報提供や同窓会組織「校友会」より郵送による定期的な情報提供を実施している。(毎年1回総会開催)

見つかった課題

留学生の受け入れの実績がなく今後 グローバル人材の教育に向け検討したい。

改善策又は改善の方向性

各医療・福祉機関の特徴を把握し、学生一人ひとりの希望の就職につなげるため、さらなる情報収集に務める。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

留学生受け入れに向けての準備は進んでいるが日本語能力などしっかり確認し、進めていただきたい。

障がい学生に関しては身障手帳等での確認も必要と思われるが、臨床での適応など考慮して教育を行っていただきたい。

中項目 5-1

学生支援体制を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

前期・後期の担任面接だけでなく適宜担任による面接を行なっている。面接の結果はガイダンス記録により教員間で共有し、個別の指導に生かしている。

小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

前期・後期の担任面接だけでなく適宜担任による面接を行なっている。面接の結果はガイダンス記録により教員間および管理者で共有している。

小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談や面談を行ない、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

保護者会を毎年1回開催して、学校の取り組みと就職活動の状況について報告している。また適宜、保護者面談、三者面談を実施している。保護者からのアンケートによれば「当校のHPを見たことが無い 37%」とあり今後 HP の認知の低さが顕著となった。

小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

キャリアサポート関連の有資格者は、キャリアサポートセンターに常駐し学生のカウンセリングを行なっている。

小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

臨床心理士による学生相談室を設置し、スクールカウンセラーとして相談に応じている。

小項目 5-1-5

ハラスメント防止に関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメント相談員を設置し、担当教員がその窓口として機能している。また、担当教員名は掲示板に掲示し周知を図っている。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

経済的な理由により就学が困難である学生に対して、授業料減免支援制度がある。また、年間を通して学期末試験等で優秀な成績を残した学生を対象に支援金を給付している。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

社会人学生と障がい者に対しては、個々の学習や生活状況に応じた支援を行なっているが、現在までのところ、留学生の受け入れ実績はない。

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業以外の課外活動(サークル活動、ボランティア活動等)に対する人的・財政的な支援を行なっている。

小項目 5-1-ANC

直営の学生寮等、学生の生活支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： _____

■コメント ■適用除外

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■学校関係者評価結果： 適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

就職先病院への顧客満足度調査や広報担当者・教員の訪問により、就業者の状況の把握ができる仕組みを確立している。

小項目 5-2-9

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、〇年後(任意)の在籍状況を把握しているか。また、キャリア教育の成果を把握して、学校の教育活動に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

就職担当者が就職営業のための訪問時に、教員は評価実習および臨床実習訪問時に就職状況を確認しているが、毎年行なっている就職先へのアンケートにおいても細かい確認を行なっている。また、その結果は学内で情報共有したのち、教育活動や就職活動に活用している

小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

再就職斡旋希望者に対しては個別に随時紹介、斡旋を行なっている。講習、研修は継続的に行なわれ、職能団体が実施する卒後教育カリキュラムへの移行へと結びついている。

基準 6 学生募集・受け入れ

基準 6 総括

学生募集は、募集要項、Web サイト等で公表している。入学事前説明会・学校説明会説明において学生および、保護者に説明を行なっている。学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を明示して、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示している。入学試験面接および入学選考は、教員、広報担当者などが行ない、入試選考基準は公正かつ適切に設定して運用している。選考結果については、受験者本人、受験校校長へ文書にて連絡し、高校へは直接選考結果を説明している。

見つかった課題

社会人層への募集活動

改善策又は改善の方向性

社会人経験者等高校生以外の入学希望者の増加への募集活動が課題と思われ、募集媒体の改善が求められている。

■学校関係者評価結果： 適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

特に無し

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果: 適 合

■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

学校案内に入学者の選抜方法を明示し、入学者選考を公正かつ適切に実施している

小項目 6-1-1

アドミッションポリシー(学生の受け入れ方針)を定め文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を明示して、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示している。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

高校営業担当と協力して、情報収集及び情報提供を行い、その情報を学内の広報委員会や責任者会議にて共有し、募集活動に反映させている。

一方、社会人経験者等高校生以外の入学希望者の増加への募集活動が課題と思われる。

小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を正確に伝えている。

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示している。

小項目 6-1-5

募集要項等には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

募集要項には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっている。

小項目 6-1-6

募集要項等には入学者の選抜方法を明示し、選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

学校案内に入学者の選抜方法を明示し、入学者選考を公正かつ適切に実施している。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理している。

基準 7 社会的活動

基準 7 総括

教育ノウハウを活用した職業訓練や緊急雇用対策事業、NPO 法人・ボランティア団体等への支援や教職員の参加奨励、国内外からの教育施設見学受け入れなど、積極的に社会貢献を進めている。

学生のボランティア活動は、推進委員会を設け学校毎あるいは各々の学校教育内容の特徴を活かした連携を図りながら推進している。

見つかった課題

学生、教員ともに多くのボランティア活動への参加実績はあるものの、計画的ではなく受身的な対応が多い。

改善策又は改善の方向性

ボランティア活動は無償であり、医学教育にはなじまないという思い込みが教職員と学生に多くみられるので、意識改革が必要。また、ボランティア教育においては評価基準の確立が重要なので、ボランティア活動の単位化の検討を行なう。

■学校関係者評価結果: 適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

今後、ボランティア活動の単位化の検討を行なうのであれば、計画性を持って推進していただきたい。

=====

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

社会貢献を目的として企業・地域・行政等の依頼を受け、出張講義・指導を行なっている。また、研修生の受け入れを行なっている。

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： B

■コメント

自主的、自己研鑽的な活動として推奨している。地域からの要望に応じた様々な活動を実践しているが、評価・単位認定はしていない

小項目 7-1-2

学校は教育資源を生かした地域住民参加の公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学園祭(三樹祭)において、地域に向けた公開講座を行なっている。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

社会貢献を目的として企業・地域・行政等の依頼を受け、出張講義・指導を行なっている。

=====

基準 8 管理運営・財務 (学校・グループ)

基準 8 総括

麻生塾では社会に信頼される学校であり続けるためにコーポレートガバナンス体制の充実化とコンプライアンスの徹底に努めている。

平成25年度からは人事考課制度である新人材マネジメント制度を実施し研修制度とリンクさせて教職員の資質向上に努めている。

見つかった課題

特記事項無し

改善策又は改善の方向性

特記事項無し

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

ハラスメントについては臨床でも重要になっている。窓口はあるが機能していないことが多い。窓口だけでなく、学生相談室も活用して対策を進めていただきたい。

=====

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

学校運営に関しては、関係法令、指導要領に基づいた運営であり、県指導調査における指導事項においても迅速且つ正当な対処を遵守しており、極めて健全なる運営である。

小項目 8-1-1

各学校、各グループで運営会議(教務会議・グループ会議等)を定期的に行なわれ、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

毎週責任者会議を実施し、その内容は各学科会議にて共有し、進捗・課題・成果については隔週で開催している教務・事務局全体会議にて報告している。

小項目 8-1-2

各学校および各グループの構成員全員の職務分掌(業務の内容および責任・権限)を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

組織の構成員のそれぞれの職務分掌は文書化し、教職員に周知し、適切に運用している。

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的実施しているか

■自己点検・評価結果: A

■コメント

防災・防犯対策・非常時対策は文書化し組織化して学内で周知している。避難訓練を定期的実施している。入館手続きを行わない人物の入館がしばしば見られ防犯上リスクがあり課題と考えられる。

小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

個人情報保護管理規程として文書化しており、適切に運用している。教職員は全員内容を理解し、規程に基づき行動している。

小項目 8-1-5

ハラスメント防止に関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

ハラスメント防止に関しては、ルールブック7, 8ハラスメント防止に記載し、全教職員に周知を図っている。また、ハラスメント委員を配置し対応している。

小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

SDIに関する研修は1年間を通じて計画を立てており、コンプライアンス、アカデミックハラスメント、関連法規などの研修を実施している。

中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果: 適合

■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

年度予算は作成し、理事会にて承認されている。中期計画は実施計画を作成している。責任者が予算執行を行い、月毎に状況を確認している。

小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

年度予算は作成し、理事会にて承認されている。中期計画は実施計画を作成している。

小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

責任者が予算執行を行い、月毎に状況を確認している。

小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

固定資産管理規程を作成し、規程に従い適切に管理・運用している。

小項目 8-2-10

図書(固定資産)を適切に管理・運用しているか。(該当校)

■自己点検・評価結果: A

■コメント

養成指定規則に準じて、教育上必要な専門図書および学術雑誌を中心に管理している。また、運用のために図書室専門職員を配置し、終日運営を行なっている。書籍の資産管理表を作成し確認を行っている。

基準 10 改革・改善・情報提供

基準 10 総括

自己点検・評価委員会を組織しており、評価項目ならびに評価時期を明文化している。自己点検・評価の必要性、結果の検証ならびに改善計画についても、全教職員に向けて、キックオフ会議等で共有する機会を設けている。

見つかった課題

今年度の理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則および指導要領について(ガイドライン)の改訂に伴う教員、実習施設要件やカリキュラム改訂等への対応。

改善策又は改善の方向性

平成32年度の第三者評価(リハビリテーション教育評価機構)に向けて、改訂された評価項目および基準の確認と対応の準備を行なう。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

自己点検・評価報告書の公表に際して、一般向けの表現や解説を望む。また教職員への周知徹底を行い、検証していただきたい。アンケートなどは学生への情報提供を行い自己評価していくのも一つの手段であるとのアドバイスを頂いた。

=====

中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価結果を全教職員で共有する機会を設けている。毎年定期的に自己点検・評価を行ない、改善計画を作成し、実行している。改善状況については、内部監査にて検証している。

小項目 10-1-1

自己点検・評価の意義を全教職員に伝え、点検・評価活動の方法や評価基準を共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価結果を全教職員で共有する機会を設けている。

小項目 10-1-2

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

毎年定期的に自己点検・評価を行ない、改善計画を作成し、実行している。改善状況については、内部監査にて検証し

ている。

小項目 10-1-3

自己点検・評価報告書は、公開に際して外部の方にわかりやすいような表現にしたり、必要な解説を加えたか。

■自己点検・評価結果：B

■コメント

自己点検・評価報告書を文書化し、Web サイトに公開しているが、外部の方にわかりやすいような表現にしたり、必要な解説などは加えていない。

小項目 10-1-4

自己点検・評価を適正に実施運用するための規程を整備し、実施計画を策定し実施を推進しているか。【教育支援本部】

■自己点検・評価結果：

■コメント ■適用除外

小項目 10-1-5

各校・各グループの報告書を集約し、全体報告書を作成しているか。各校の報告書は Web サイトで公開しているか。

【教育支援本部】

■自己点検・評価結果：

■コメント ■適用除外

=====

中項目 10-2

公的な教育機関として、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供しているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

自己点検・評価報告書を文書化し、Web サイトに公開している他、第三者評価であるリハビリテーション教育評価機構による教育評価認定結果も同様に公開されている。

小項目 10-2-6

法令およびガイドラインに従い積極的に情報提供の取り組みを行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

厚労省および職能団体が策定した教育ガイドラインに則り、高等教育機関としての立場を自覚し、社会に対する説明責任を果たすと同時に、教育の質の確保・向上を図るために、第三者評価等の情報提供の取り組みを推進している。全教職

員は教育活動等に関する情報の積極的提供の義務を周知している。

小項目 10-2-7

提供している情報はガイドラインに示された項目に沿ったものであるか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

養成施設指定規則、理学療法士および作業療法士の教育ガイドライン等に示された項目に沿った情報を提供している。

小項目 10-2-8

情報提供は対象者に合わせて情報の内容や提供手段を工夫し、わかりやすく効果的であるか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

入学希望者・保護者、高等学校、企業等関係者、近隣住民等に対して、対象者に合わせて内容や提供手段を工夫し、わかりやすい形で情報提供を行なっている。